

第58期 環境経営レポート

対象期間:2020年9月1日~2021年8月31日



MIYAMA

株式会社みやま

2021年10月4日 発行



目 次

みやまEA21 キャラクター「eco2郎」

1.	SDGsへの取組み・・・・・・・・・	2
2.	組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3.	EA21実施体制・・・・・・・・・・	7
4.	環境経営方針・・・・・・・・・・・	8
5.	当期環境目標及び中期目標・・・・・・・	9
6.	環境目標達成の状況・・・・・・・・・	10
7.	環境目標達成のための計画と実績・・・・	14
8.	環境法規への違反・訴訟の有無・・・・・	18
9.	代表者による全体の評価と見直し・・・・	19
10.	環境活動への取組み・・・・・・・・・	20



はじめに

当社は、1947年の創立以来74年にわたりプラスチックの金型製作と射出成形に取り組んで参りました。1995年から「世界中のどこに行ってもPPSという樹脂名が出た時に日本に『みやま』がある、と言っていただける企業になる!」というビジョンを掲げ、金属の代替樹脂であるPPS(ポリフェニレンサルファイド)の成形技術を確立・商品化、さらに最近はお客様のご要望を受けて完成品の商品開発にも取り組みはじめており、コロナ禍においても業容は拡大基調にあります。

国際化が進む中、日本に土台を据え、固有の技術をしっかりと社内に培い次の世代に受け継ぐためには、環境保護と生産活動が合致する取り組みが不可欠とのことで、エコアクション21の維持・改善活動を継続して参りました。業容が拡大する中で、SDGs推進企業としてエコアクション21及びISO9OO1を当社流に融合させた活動に力を入れております。本来業務での一人一人の日々の取組みの積み重ねがCO2削減に役立つことが、従業員各自の個人目標を通して意識の変化に繋がってきております。

2030年を見据えた中長期経営計画を視える化し、経営方針・目標の達成が最終的にはCO₂削減に役立つとの視点から方針管理の側面にも活動の幅を広げ、環境保護活動を益々充実させているところです。

今後も環境に優しいものづくりを通じて社会貢献していくとの強い想いをベースに、 この活動を強化・継続していく所存です。









表紙写真「アザミの蜜を吸う ミヤマシロチョウ」 撮影: 製造課 湯田坂修二



1.SDGsへの取組み

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、事業活動を通じてより良い未来の実現に貢献してまいります。

SUSTAINABLE GOALS

























2019年7月、株式会社みやまは 長野県SDGs推進企業(第1期)に 登録されました。

みやま SDGsへの貢献





CO2排出量の削減

本来業務の改善による品質向上・不良削減を行い、製造工程において排出されるCO₂単位売上当りの排出量の削減に努めます。





金属から樹脂への置き換え

金属代替樹脂であるPPS材料の成形に高い技術力を持つ当社の強みで、自動車部品等への採用で軽量化と燃費向上に貢献し、経済性と環境に貢献します。





人財育成

すべての従業員に学ぶ機会を提供し、個々人が自ら成長する喜びを感じられる職場作りを行います。

SDGs研修会の実施



全従業員を対象にSDGs研修を行いました。SDGsの理解を深めると共に、 カードゲームを通して楽しみながら考え、SDGsを体験しました。









1.SDGsへの取組み

SDGs個人目標の設定



SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT



今期も一人一人が日常生活や仕事を通して取組みたい行動を SDGsの目標と結び付けて考え、個人目標を立てました。 一人一人の小さな行動、心掛けが 「持続可能な社会」に向けて世界を変える大きな力になります!

58期 私のSDGs 振り返りアンケート結果

できたこと

- 節水、節電は意識して取り組めた
- 目標を心がけてできた
- 買い物の際はエコバッグを持っていくようにした
- 検査では特に過剰品質にならない事を心掛けました
- 手洗いは常に実施している
- 野菜の自給率を70%まで引き上げた
- 効果的に端材の再利用ができた
- 雨水や手洗いの水活用はT夫の余地有り
- 不良品は対策を取ってきているので以後減っていく と思う
- コピー削減は引き続きやり方を含めて検討していき ます

アンケート実施期間 回答者数 自己評価(1項目)の平均点 作成日: 2021年9月8日

52名 3.8点(5点满点中) SDGs推進專門係

2021年8月25~30日

取り組みの感想など

- 食べ物を粗末にしないように心がけていきたい
- なんとなく意識するだけで変わるんだと実態できたので、これからも続けていきたいです
- 出来ることは継続して心掛けしたいと思いました
- 色々な方法を考えて取り組んでいきたいと思いました
- 仕事に追われてくるとSDGsのことを考えられなくなってしまった
- 製品不良を出さないようにしたい
- もう少し意識していれば取り組めることがもっとあった気がする
- 普段の生活に取り入れて行う事ができました
- 日常の目標は意識して出来たと思う。仕事はもっと上 手くやれた気がする

´ SDGsを 意識した行動が 、できたかな?



58期の活動 振り返りアンケートの実施



1.SDGsへの取組み

SUSTAINABLE GOALS

会社の緑化・野菜の栽培















敷地内に木や花を植える、グリーンカーテンを作るなど、緑化を進めています。 前期に引き続き今期も畑を作り、じゃがいも、サツマイモ、白菜、大根等を育てました。

新型コロナウィルス対策



市が実施した新型コロナ感染対策補助金を活用し、オゾン発生器を購入しました。これにより社内の消毒、除菌をしています。

また、手洗い場を自動水栓化する事による感染防止対策を行いました。

社員玄関に非接触型検温器を設置し、出勤時の体温チェックを推進しています。同様の機器を来客用にも設置し、外部からのウィルス感染対策を行っています。



オゾン発生器の設置



手洗い場の自動水栓化



検温器で 体温チェック





1.SDGsへの取り組み

品質方針



金属の悩みを樹脂で解決! 私達は世界の幸せな未来に貢献します。

1. 顧客優先

社是・社訓に基づき、時流の変化を先読みし、 顧客の厳しい要求に挑戦し続ける。





2. 品質至上

より確かな、より高い精度の要求に応えるため、常に"品質第一"を念頭に置いて行動する。



3. 人材の育成

社員一人ひとりの持つリソースに着目し 個性を伸ばし、人間性豊かな人財を育成する。







4. 継続的改善

業務を楽にたのしくする品質マネジメント システムを構築し、顧客満足の向上を図れる 改善を継続的に実施していく。





5. 品質目標

年度ごと、時節に合った品質目標を設定し、 PDCAを回し続けることにより、効果的な 達成を目指す。





2019年6月25日



代表取締役社長 有賴其帝



2. 組織の概要

●会社名

株式会社みやま

●所在地 長野県茅野市ちの176-5

●代表者名

●環境管理責任者

代表取締役社長 専務取締役工場長 百瀬 真希 百瀬 幸男

●連絡先 TEL 0266-72-3178

FAX 0266-73-5473

E-mail miyama@miyama-gr.co.jp

●事業内容 プラスチック射出成形

●認証の対象範囲 本社・本社工場

●事業規模

第58期(2020年度)		
売上額	9億8000万円	
従業員数	60名	
延床面積	3,239m²	
敷地面積	4,171㎡	





本社•本社工場





PPSは金属の代替樹脂として 誕生、耐薬品性を有し、強度も高 い為、水周りのバルブ等に使用さ れています。

グループ会社



BASIS JAPAN Co., Ltd.

●会社名

バーズィスジャパン株式会社

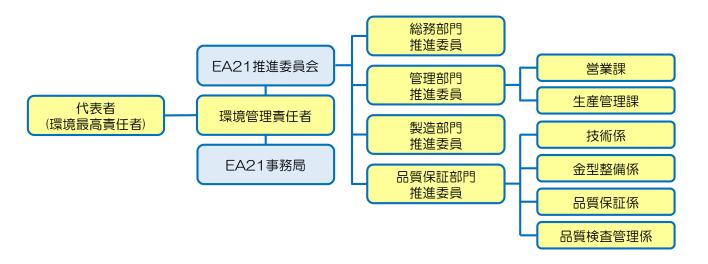
●事業内容

金型設計・製造





3. EA21実施体制



役職・組織名	役割・責任・権限
環境最高責任者	①環境方針を策定し、全員に周知する ②環境経営全般に関して、責任と権限を持つ ③EA21の全体の評価と見直しを行う ④環境管理責任者を定め、必要な責任者を任命する
環境管理責任者	①EA21の取組みの実行責任者として活動を進める ②環境推進委員会の招集を指示し、審議事項の承認 ③緊急事態対応訓練の計画を指示し、実施記録の承認 ④法規制等の遵守状況の管理
エコアクション21 事務局	①EA21環境活動計画を作成し、実行を進める ②環境への取組の自己チェックを実施する ③環境会議を隔週に行い、状況の把握、見直し、記録集計する ④環境管理責任者、実施部門と連携し、問題点等を会社に周知する
総務部門 推進委員	①グリーン購入比率の向上を進める ②会社周辺地域の環境維持活動に積極的に参加する ③紙の使用削減に努める ④冷暖房の効率化を進める
管理部門 推進委員	①必要に応じた材料、資材の効率的な購入に努める ②社有車輌の維持管理及び燃料の削減に努める
製造部門推進委員	①不良率を減らすことにより、材料購入の低減と廃プラの削減をはかる ②生産の効率化(ショット数・稼働率の向上)による電力量削減を進める ③冷房効率を高めLPGの削減に努める ④化学物質削減、上水道の有効活用及び水使用量の削減に努める
品質保証部門 推進委員	①客先クレーム、社内不具合発生件数の集計と低減をはかる ②ペーパーレス化の推進 ③サンプルの保管期限と管理方法の仕組を構築する ④省資源、省エネに努める



4. 環境経営方針

〈基本理念〉

当社は八ヶ岳に抱かれ、縄文時代から続く歴史と文化、そして諏訪湖を臨む素晴らしい自然環境に恵まれた地域に立地しています。

この地に生活していた多くの人々が守り育んできた環境を未来の子供達に引き継げる様に、環境にやさしいものづくりを行います。

本来業務の改善を通して、高い【環境品質】を作りだし、CO₂の削減に取り組むことで、当社に関わる全ての皆様の【満足度】を高め、社員一人一人の健康で豊かな生活の実現を図り、社会の持続可能な発展に貢献します。

〈環境行動宣言〉

株式会社みやまは地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、全員参加で事業活動と環境保全の両立に取り組みます。

〈環境行動方針〉

- 1. 納期を遵守し、効率的な生産を追求することで、二酸化炭素・資源及びエネルギーの削減に努めます。
- 2. 全員参加の5Sと改善活動を継続的に行うことで、生産性向上、品質向上を はかり、本来業務と環境保全を一体のものとします。
- 3. 環境法規・協定を遵守し、環境への意識向上を図り地域社会に貢献します。
- 4. 環境方針を定め全社員に周知すると共に、環境への取り組みを環境活動 レポートとして情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。
- 5. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めます。
- 6. 全社員への定期的な環境教育を行い環境マネージメントシステムの継続的 改善に努めます。



制定日 2010年9月1日 改 定 2017年9月1日 株式会社みやま 代表取締役社長



5. 当期環境目標及び中期目標

- 2017年度を基準年度に再設定し、管理しています。 (係数は中部電力2018年度、二酸化炭素調整後排出係数 0.452 kg-CO₂/kWhを使用)
- ・ 目標値は売上100万円当たりの使用/排出量 としています。

項目	年度	54期 2017年度 (基準年度)	58期 2020年度 (当期目標値)	59期 2021年度	60期 2022年度
CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	1140.02	1110.00 (97.37%)	1100.00 ▲3.51%	1090.00 ▲4.39%
電力による CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	1044.24	920.00 ▲11.90.%	920.00 ▲11.9%	910.00 ▲12.85%
LPGによる CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	21.29	40.00 +87.92%	40.00 +87.92%	40.00 +87.92%
ガソリンによる CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	21.20	22.00 +3.76%	21.00 ▲0.96%	21.00 ▲0.96%
軽油による CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	2.94	2.60 ▲11.63%	2.50 ▲15.03%	2.50 ▲15.03%
灯油による CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	44.60	40.00 ▲10.31%	35.00 ▲21.52%	35.00 ▲21.52%
水道 使用量の削減	m³/百万円	0.64	0.60 ▲6.41%	0.55 ▲14.21%	0.55 ▲14.21%
廃プラ 排出量の削減	kg/百万円	16.01	20.00 +24.92%	25.00 +56.15%	25.00 +56.15%
可燃物 排出量の削減	kg/百万円	0.59	0.60 +1.25%	0.58 ▲2.12	0.58 ▲2.12
化学物質 使用量の削減	ℓ/百万円	0.47	0.40 1 5.00%	0.45 ▲4.38%	0.45 ▲4.38%
環境美化活動 春一上川土手清掃(上原区主催) 夏一清水川清掃(飯島区主催) 上川 江川橋清掃活動		2回参加 1回参加 月1回実施	2回参加 1回参加 月1回実施	2回参加 1回参加 月1回実施	2回参加 1回参加 月1回実施





カイゼンがえる [みちがえる]



6. 環境目標の達成状況

【評価基準】

目標達成 目標未達成 = X

13 気候変動に 具体的な対策を 11 住み続けられる まちづくりを 二酸化炭素排出量 SDGs (O) 400 判定 58期 目標値 実績 1110.00 kg-CO₂/百万円 939.17 kg-CO₂/百万円 \bigcirc 1,300 800,000 753,054 624,445 638,001 668.041 700,000 1,100 ■■目標 kg-CO₂/百万円 600,000 900 ■■実績 kg-CO₂/百万円 500,000 700 --○- 総排出量 kg-CO₂ 400,000 500 300,000 54期 56期 57期 58期

結果と次年度の取り組み

- 個別項目の評価結果がCO₂排出量に寄与している。
- ・生産量の増加に伴い総排出量は増加したが、売上当りの使用量では目標達成となった。
- ・電力使用量がCO₂削減に大きく寄与する為、今後も使用電力の削減に重点的に取り組む。

13 気候変動に 具体的な対策を 電力による二酸化炭素排出量 **SDGs** 58期 目標値 実績 判定 920.00 kg-CO₂/百万円 863.95 kg-CO₂/百万円 \bigcirc 1,300 750,000 700,000 1,100 ■■目標 kg-CO₂/百万円 650,000 900 ■実績 kg-CO₂/百万円 600.000 700 --○- 総排出量 kg-CO₂ 550,000 500 500,000 54期 56期 57期 58期

結果と次年度の取り組み

- 前期から引き続き、老朽化した成形機を省エネ型に入れ替える等の取組みができた。
- SDGsの取組みによる従業員の意識が、日常のこまめな電力削減に繋がった。
- 成形機の増加による使用量の増加が見込まれるが、ムダの無い生産を行い目標達成を目指す。



環境目標の達成状況

【評価基準】

目標達成 = 0 目標未達成 = X

11 住み続けられ まちづくりを 13 気候変動に 具体的な対策を 化石燃料による SDGs 二酸化炭素排出量 58期 目標値 績 半川 実 定 71.91 kg-CO₂/百万円 104.60 kg-CO₂/百万円 150 80,000 60,000 100 ■ 目標 kg-CO₂/百万円 40,000 ■ 実績 kg-CO₂/百万円 50 20,000 **─**○ 総排出量 kg-CO₂ 0 54期 56期 57期 58期 ガソリン ΙŢ **LPG** 項 目 軽 油 油 半川 定 \bigcirc \bigcirc X 1552 194 13.43 4102 実 績 (kg-CO₂/百万円)

結果と次年度の取り組み

- コロナ禍の影響により得意先への訪問が減少、ガソリンの使用量は減少した。
- 輸送の外注化を進めることで軽油の使用量も削減し、目標達成となった。
- 工場内の環境改善、冷房の効率を行い効果も出たが、LPGは目標未達となった。
- 使用量の削減とともに効率的な冷暖房の使用を実施し、作業環境の改善を進める。



結果と次年度の取り組み

- 毎月ほぼ一定の排出となっており、従業員の意識が徹底されてきたものと思われる。
- ・次年度も継続して5S活動に取り組み、ごみの分別、個人のごみの持ち帰りを徹底する。



0

6. 環境目標の達成状況

【評価基準】 目標達成 = 〇 目標未達成 = ×

化学物質使用量	SDGs	12 9585	
58期 目標値	実績		判定
0.40 ℓ/百万円	0.39 ℓ/百万円		0
0.8 0.6 0.4 0.2 0.0 54期 56期	57期 58期	300 200 100 0	■■ 目標 ℓ/百万円 ■■ 実績 ℓ/百万円 —— 総排出量 ℓ

結果と次年度の取り組み

- 生産量の増加に伴い使用量も増加しているが、売上高の伸びもあり目標達成となった。
- 使用量削減の要因を分析し、ムダのない使用方法を行えるよう改善を推進する。



- 使用量は一年を通して安定しており、また売上高の伸びも影響し目標達成となった。
- コロナ対策として導入した自動センサー水栓が、水の出しっ放しの防止にも繋がった。
- ・設備による節水及び、SDGs活動による一人一人の意識向上を推進する。



6. 環境目標の達成状況

【評価基準】

目標達成 = 🔾 目標未達成 = ×

9 産業と核新革析 基盤をつくろう 12 つくる页件 つかう責任 廃プラ排出量 SDGs CO58期 目標値 実績 判定 27.97 kg/百万円 X 20.00 kg/百万円 40.0 25,000 20,000 30.0 ■■目標 kg/百万円 15,000 20.0 ■■実績 kg/百万円 10,000 --○- 総排出量 t 10.0 5,000 0 0.0 54期 56期 57期 58期 結果と次年度の取り組み

- ・生産量の増加に伴い、総排出量も増加、目標値をオーバーしてしまった。
- ・製造現場での分別方法の改善も実施し、意識の向上をはかれた点が良かった。
- 分別、リサイクルを推進すると共に、本来業務である工程不良の削減に重点的に取り組む。

第58期行動スローガン

やりきる力で成果を創り 輝く未来へ Let's Go!







弊社では、事業活動による基本的な節電、節水、廃棄物の削減を推進すると共に、本来業務の達成率を高めることによってCO₂排出量が低減できるとの考え方の下、EA21活動の目玉として本来業務の改善に重点を置いて取り組んでいます。

総務部門

[わかがえる]

目標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
 経費の節減 電力費 消耗品 改善活動 	①社屋・工場の屋根塗装 ②営業車輌ハイブリッド車導入 ③IT活用による経費削減	 高耐候性、超低汚染性、遮熱性の高い塗料を使用する事で見栄えと実益を兼ねつつ環境にも良い修繕を実施した。 低燃費・低排出ガスの車輌を導入した。 人事関係の申請を電子申請を推進する事により外出機会が削減された。 他社事例などを研究し、コストダウンへの新たなアイデアを捻出する。
2. TECHSの 有効活用	①原価管理への活用 ②買掛金管理への活用	・売上管理等の経理面での活用は達成した。・システムに対する理解度が足りないためより良い活用のためのアイデアがない。・精度と速度の向上。
3. 人事評価 制度の定着	①経営計画冊子を作成し 個人の目標管理の重要性を 意識付け強化 ②制度定着のための説明会	 人事基本理念から個人の目標管理シートまでを盛り込んだ冊子を作成し各部署に配布、誰もが閲覧できるようにする事で各個人のやるべきことを視える化。 2回の説明会を開催。制度を理解していない社員をなくす取組みを行った。 来期はチーム目標制度の導入を検討。
4. 教育の充実と 人材育成	①キャリアマップに 基づいた育成 ②評価制度を反映した 昇格試験の実施	・若手社員の積極的な技術習得研修への参加を推奨。本人の希望と会社の望む姿を合致させ、将来を見据えた人材育成。・昇格試験実施。課長職3名係長職2名が合格した。・資格取得への挑戦を促し支援する。



社屋・工場の屋根塗装



経営計画の冊子を各部署へ配布



[かんがえる]





[ふりかえる]

営業管理部門

	標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
1. 売上・	利益確保	①売上目標 9.6億万円 ②自社製品販売	 ・売上は9.8億円にて目標達成。前期、前々期受注した製品が量産化により製品売上UPに繋がった。(前期比23%増) ・自社製品として簡易防水BOXを作成販売、112台を売り上げた。 ・来期売上目標は10.5億円とする。新規開拓はもちろん、既存顧客へのアプローチを行う。また、外注開拓、強化による売上、利益増加への取組みも行う。
2. 在庫仕 (TECH	·掛明確化 IS活用)	①プロジェクト化し 全社活動実施	 プロジェクト化し、活用計画を決め、各項目に 関してアクションプランを立て実施。材料歩留 の把握、入力再教育等を行いデータ入力の改善 を推進した。 来期はデータ入力を徹底するとともに、製品歩 留等の視える化を進めていく。
3. 納期遵100%		①納期遅延の明確化と 対策	 納期遵守率は91.8%となり、前期より4%UPとなった。受注状況の視える化を行い、また機械等の設備導入も実施した。 生産キャパ越えでの遅延改善のため、外注を活用し、遵守率を向上させていく。

技術部門

目標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
1. 金型修正回数 の削減	①関係部門との 情報共有の徹底 ②過去のノウハウ 設計へ反映	・設計者立ち合いのもとトライを実施することでタイムリーな情報共有をはかった。・ガス抜き加工等、過去のノウハウを設計段階から盛り込むことで修正回数の削減に繋がった。・来期は設計者と技術部門での情報共有を更に推進し、金型製作源流からの改善に繋げていく。
2. 新しい技術 加工法、 設備の導入	①測定業務の効率化 ②流動解析導入による 3D設計の簡素化	・流動解析の実施回数も増え、設計時間の短縮、 トライ回数の削減もはかれた。・流動解析ソフトを使いこなせる人員増を行い、 設計時間及び金型修正回数の削減に繋げる。
3. 金型不具合の 原因追求と 対策実施	①不具合改善案の見極め ②金型製作メーカーごと の特徴明確化	・作成する金型仕様書に同種金型で発生した過去トラ及び改善結果を盛り込み、新規型に反映し、その効果が出てきている。・来期も過去トラ、改善の盛り込みを実施し、定常化していく。



品質保証部門



[たたかえる]

目標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
1. 社内不良削減 不具合分析と 対策の実施	①品質会議の開催と推進 ②工程パトロール強化	 ・社内不良金額は達成率40.4%と大きく下回った。 ・クレーム件数は目標を達成したが、赤伝不良は件数、金額ともに未達となった。 ・品質会議での取り組みにより金型改善に着手、根本対策を実施し品質改善に繋がった。 ・製造工程でのパトロールを実施することで工程不良の早期発見に繋がった。 ・金型起因、成形加工起因で発生する社内不良、客先クレームの恒久策を取る
2. 工程作業ロスの削減	①検査係全員への 品質管理基礎教育実施 ②工程もやもやシート 活用による作業ロス 改善	・検査係に対し、品質管理の基礎、測定器使用方法等の教育を実施し、スキルUPをはかった。・検査係発案による「工程もやもやシート」を作成し、慢性作業ロスと品質改善に効果を出せた。・来期も引き続き活用し、品質の向上と検査工程の負荷削減に取り組む。
3. ISO9001 活動の推進	①外部審査実施とまとめ ②内部監査の計画と実施	 ISO外部審査計画を立て2020年11月にサーベイランス審査を受審し適合した。 年2回の内部監査の計画立案及びフォロー、まとめを行い、効果的な内部監査を実施できた。 来期もISO審査の計画を進めるとともに、現状に即した基準の改定を実施しISOの活用を推進する。



自社製品 簡易防水BOX 【営業課】



金型誤組対策の実施 【金型整備係】



月毎の品質情報掲示 【品証課】



社用車(ハイブリッド)の導入 【営業課】



出荷方法の見直しによるムダの削減 【検査管理係】

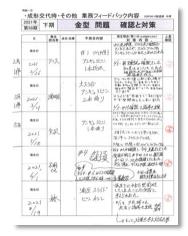




[とりかえる]

製造部門

r			
	目標	実施項目	実施結果と次年度取り組み
	1. 機械稼働率UP 目標 72.7%	①金型トラブル停止の 削減 ②生産計画通りの生産	・稼働率は前期対比13%UP、達成率106%。 金型トラブルの見える化と初品NG金型集計/対 策の実施により金型トラブルの削減に繋がった。・トラブル金型の改善依頼実施と、効率的な段取 化を推進する。
	2. 品質不良の削減 品質異常連絡票 60件以下/年等	①品質異常連絡表の 確認と対策紙の運用 ②N社向け 現場梱包仕様書の作成	 ・品質異常連絡票発行件数53件で目標達成。 担当者が不具合の発生原因を考え、対策内容を 随時職場の朝/夕礼で報告、皆でフィードバック を行うことで作業改善をはかった。 ・現場梱包仕様書は61件作成できた。 ・現場での製品判定精度を上げると共に、不良 ワースト製品の対策にも取り組んでいく。
	3. 生産管理 システムの活用 入力100%実施 /入カミス無し	①入力方法の見直し ②生産指示書の改善 ③マニュアルの作成と 作業指導	実績入力の仕組みの見直し、入力ミスがあった際の即日指導の実施等により、製造実績の精度向上に繋がった。バラ落とし製品の実績管理もできるよう改善に取り組む。



金型問題 確認と対策



生産管理システム 入力手順書



成形機稼働率の推移





床の補修と成形機の導入(省エネ化)



8. 環境法規への違反・訴訟の有無

以下の法が適用されるため、2021年8月31日に遵守確認を行ったところ下記の結果でした。また、環境に関するステークホルダーからの苦情は、本年度もありませんでした。

適用法	法規則内容	評価結果	判定
廃掃法	産業廃棄物の処理	・産業廃棄物処理委託契約の有効性を確認し、 処理実態に問題はありませんでした。・マニフェスト保管に問題はありませんでした。・水銀入り蛍光灯の別保管と掲示を実施 しました。	0
騒音規制法	射出成形機 コンプレッサー設備	・ 測定値は茅野市の騒音規制値内にあります。	0
振動規制法	射出成形機 コンプレッサー設備	・ 測定値は茅野市の騒音規制値内にあります。	0
消防法	特定施設の届出	・灯油の地上タンクの異常臭発生及び油量異常減少の日常管理を実施し管理状態にあります。	0
グリーン調達基準	特定化学物質の管理	グリーンマーク商品の購入、顧客要求に基づ く特定化学物質非含有材料の使用を推進して います。	0
家電リサイクル法 小型家電 リサイクル法	廃棄時の記録管理等	・廃棄時の記録を残し、専門業者に廃棄を依頼 しています。 今期は大型家電の廃棄はありませんでした。	0
労働安全衛生法	特定化学物質障害 予防規則等	リスクアセスメント義務化対象となる化学物質についてのリスクアセスメントを実施しました。①メタノール②アルカリ溶液SK-501	0
フロン排出抑制法	冷媒漏洩点検 • 整備記録等	・実施しました。	0



9. 代表者による全体の評価と見直し

54期から掲げてきた5ヶ年ミッション【"唯一無二"強いものづくり技術の確立】の最終年度であった今期58期は【やりきる力で成果をつくり輝く未来へLet's Go!】のスローガンのもと、私達一人一人が輝く未来をイメージして、日々の業務改善に取り組んだ一年でした。【SDGs推進専門係】を中心にSDGsの取り組みを基軸としてエコアクション21・ISO9001を当社流に融合させた活動で本来業務の改善をはじめとする取組みにより、CO。削減・利益実感のある一年でもありました。

全従業員を対象にして、SDGsカードゲーム研修を実施し、持続可能な開発目標のイメージを理解する事にも力を注いできました。一人一人の小さな行動や心掛けが世界を変える力を持つことを体感する機会となりました。

コロナ禍でも売り上げを伸ばすことができた事は、ここまでの環境への取組みを各お取引先にご評価いただいた事が一因になっている事は言うまでもありませんが、特筆すべきは5ヶ年ミッション開始54期との比較で原価率を約6%ダウンさせたことです。これは5ヶ年の取り組みの積み重ねの成果であったことを評価できます。一方、昨年に引き続き、廃プラ排出量は未達のまま今期を閉める結果となり、抜本的な解決を図ることを期待します。

5ヶ年ミッション最終年度で一定の成果を出せたことを、従業員及び弊社を支えていただいた皆様に感謝したいと存じます。

代表取締役社長 有親真市

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS

"持続可能な企業" を目指して



地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手候補である企業として、経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定されました。

地域未来牽引企業

eco検定に チャレンジ!



SDGs取組みの一環としてeco 検定にチャレンジを開始、環境人 材の育成に取り組みます。 今期は2名が合格しました。







10. 環境活動への取組み



[ひっくりかえる]

地域社会への貢献



毎年の恒例行事である地域環境維持活動として、地元上原区の上川右岸を守る会等に参加しています。清水川の河川清掃、社員の通勤路である江川橋の定期清掃、 周辺道路の雪かき等により、会社周辺の美化にも努めています。







河川の清掃活動

周辺道路のゴミ拾い

緊急時対応訓練

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、職場ごとに訓練を実施しました。



避難訓練の様子



避難経路と職場内危険個所の確認

環境コミュニケーション大賞 優秀賞受賞

弊社の第57期環境経営レポートが、環境コミュニケーション大賞環境経営レポート部門「優秀賞」を授賞いたしました。今後も見やすく、わかりやすい環境活動レポートを目指して取組んで参ります。





オンライン表彰式の様子



EA21中央事務局様より 永年継続事業者として 感謝状を頂きました。



10. 環境活動への取組み

みやま5Sキャラクター

5Sと改善活動



初めに社員の皆さんにアンケートを実施

下記のような提案を沢山いただきました

- ・2F床、タイルの補修によるスムーズなコロの活用
- 第1、第2丁場間の通路補係
- ·金型番地管理
- · 2F作業環境改善
- ・3F置場の見直し
- · 1F現場 作業環境改善

5Sを通じて安全・安心な職場 環境を作り、より良い仕事につながるよう、全員参加で活動しています。

今期は**「誰でもずっと長く働きたくなるキレイな会社」**をスローガンに★修繕、★改善、★3Sの3つのチームで5Sと改善活動を進めました。

アンケートを実施し、取組み内容を検討



床の修繕 Before



After



掃除用具置場の整理



ラインテープの貼り直し



工場前の資材置き場整理



3F製品置き場の整理



倉庫の整理

Before



After

ん 仕事がしやすい 環境ができました!

